



👑 一関工業弓道部

2年連続5度目の優勝をつかむ

第68回県高校総体弓道競技の決勝戦は5月29日、盛岡市で行われ、一関工業は盛岡一高、盛岡三高、一関二高をそれぞれ13-10、12-11、15-12で下し、2年連続で優勝を飾った。

本望智英監督は、昨年のインターハ

イに出場した自信が、強さの土台になっていると分析。「勝負どころで平常心を失わない強さは、日々の鍛錬のたまもの。気負わず、素直な気持ちで射形を描いてほしい」と選手の活躍に期待している。



池田 和貴くん

Ikeda Kazuki

一関工業・(3年)

弓道男子 優勝

決勝戦では、20射のうち18射を中てることができました。個人でのインターハイ出場は初。気持ちを上手にコントロールして、丁寧な動作を意識したいです。



👑 一関一高ソフトボール部

悲願の優勝。公立勢としても12年ぶり

第68回県高校総体ソフトボール女子の決勝戦は7月6日、花巻市・石鳥谷ふれあい運動公園で行われ、一関一高が花巻東に5-0で勝ち、12年ぶりに優勝した。

公立勢としても12年ぶりの快挙。千葉律子監督は「県立校で頂点を取りかかった。やっと勝てた」と喜び、今野葵主将は「全国ではチャンスを確実にものにしたい」と意気込んだ。



👑 一関修紅バレーボール部

男子が2年ぶり9度目の優勝

5月に花巻市で開かれた県高校総体で優勝し、2年ぶりに全国大会へ。高橋昇禎監督は「選手が自発的に動くことが第一」と選手の自主性を尊重し、主将の菊地諒君(3年)は「チームを盛り上げ、コンビバレーで優勝したい」と力を込めた。



👑 室根 SBC

第30回全日本小学生男女ソフトボール大会岩手県予選会 3位

県予選会で3位の室根SBC(加藤晴美監督、部員17人)は、7月に東京都で開催する東日本小学生女子ソフトボール大会への出場権を得た。4年ぶりの大きな大会出場となる同チーム。加藤監督は「打撃でリズムをつかみ守りに生かしていきたい」と試合運びをイメージし、吉田千央主将(室根西小6年)は「主将としてみんなをまとめ、1戦1戦を大切に戦いたい」と活躍を誓った。



👑 涌津スポーツ少年団

第30回全日本小学生男女ソフトボール大会岩手県予選会 準優勝

県予選会で準優勝した涌津スポーツ少年団(千葉義則監督、部員11人)は、7月に東京都で開かれる東日本小学生女子ソフトボール大会に歩を進める。千葉監督は「投手を中心に守り、走塁やバントなどを絡め得点していき、優勝したい」、千葉美春主将(涌津小6年)は「雰囲気明るくするために声を出し、頑張ってチームに貢献したい」と決意を新たにしました。



👑 川崎エンジェルス

第30回全日本小学生男女ソフトボール大会岩手県予選会 優勝

6月に行われた県予選会で、川崎町の川崎エンジェルス(菅原史朗監督、部員18人)が優勝。8月5日から岡山県岡山市などで開かれる全国大会へ出場する。菅原監督は「春から打力、走力、守備力そして投手力も上り調子。体調管理をしっかりして本番に臨みたい」と気を引き締め、菅原杏珠主将(川崎小6年)は「まずは1勝して、その勢いで勝ち上がっていききたい」と意気込んだ。



高まる熱闘の予感

7月から8月にかけて、日本各地で行われる全国大会。選手にとって、そこは夢の大舞台だ。選手たちは大会を控え、練習はもちろんのこと、あいさつや体調管理を怠らない。それは、生活の全てが次の勝利につながるかと信じているからだ。ひたむきな思いが、素晴らしいプレーや土壇場で戦況をひっくり返す奇跡のドラマを生む。自分のため、仲間のため、関わってきた全ての人のために、夢の舞台にチャレンジする選手たち。高まる熱闘の予感。頑張れ一関勢。



小原 拓未くん

Obara Takumi

一関学院・(3年)

平成28年度東北高等学校選手権大会 男子5000m 3位

全国の目標は8位入賞。先頭にくらいつき最後に勝負をかけた。練習はつらいですが、結果が出たときの喜びはひとしお。岩手国体、冬の全国駅伝まで駆け抜けたいです。